

---

## プレスリリース

---

ロンドン、2021年3月10日（水）午前0時1分

### 2020年のプラチナ需要は供給を記録的に29トン上回り、 2021年は3年連続で不足が予想される

- 2020年の供給は17%減少した一方、需要減は7%に留まり、不足は過去最大の29トン
- 2021年にプラチナは3年連続不足する見通し
- 2021年のプラチナの自動車需要は、中国の重量車が牽引し、25%増が見込まれる
- プラチナの水素経済との関連により、投資家の関心は依然高いため、投資需要は引き続き堅調だが、金やパラジウムと比較するとプラチナは依然として大幅に過小評価されている

ワールド・プラチナ・インベストメント・カウンシル（World Platinum Investment Council、以下 WPIC）は本日、2020年第4四半期の『Platinum Quarterly』を発表しました。これには改訂された2021年予測も含まれています。

2020年第4四半期は、自動車、工業、宝飾品セクターの需要が旺盛であったことと、制約された供給を上回る投資需要が継続したため、プラチナは5トン不足しました（不足は3四半期連続）。

全体として、2020年は世界経済が3.5%縮小しましたが、プラチナ市場の不足は29トンとなり、過去最大を記録しました。総需要が7%（18トン）減少した一方、鉱山供給量の20%（37トン）の急減、リサイクルの10%（7トン）減により、総供給量は17%（44トン）減少しました。

新型コロナウイルスのワクチン接種プログラムの普及により、経済活動が正常に戻ると予想される中で、2021年のプラチナ需要は3%（8トン）増の249トン、供給は17%（35トン）増の247トンとなる結果、不足は2トンと見込まれ、3年連続で不足すると予想されています。2021年の需要成長は、主に自動車、宝飾品、工業需要の力強い回復が主導し、非常に旺盛ながら減少している投資需要を相殺すると予想されています。

#### 自動車セクターの回復

小型車および重量車の生産が順調に回復しているため、2020年第4四半期のプラチナの自動車需要は前年比5%（1トン）増加しました。特に北米におけるプラチナ需要は17%（0.4トン）増加しました。これには小型ディーゼル車の力強い成長が含まれ、他の地域の減少を補いました。重量車の生産は世界全体で7%増加し、特に中国では21%増加しました。実施が迫る中国の「国6」規制に完全に準拠するために必要な白金族元素を多く含む触媒の増加は、中国のプラチナ需要増加の51%（1トン増）を占めました。

2021年の小型車生産は2019年をわずかに下回る水準まで回復すると見込まれています。生産台数はわずかに届かないものの、自動車のプラチナ需要は25%（19トン）増加すると予想されています。これは主に自動車生産の増加、排ガス規制の強化に対応するためのプラチナ使用量の増加、ガソリン後処理システムにおけるプラチナのパラジウム代替によるものです。

### プラチナ投資需要は高止まり

2020年第4四半期の投資需要は、四半期ベースで最高を記録しました前四半期比では86%（26トン）減となったものの、前年同期比63%（2トン）増となりました。2020年第4四半期の地金およびコインの買い越しは、前年比で2倍以上の112%（1トン）増となった一方で、ETF保有高は前年比56%（2トン）増加しました。

投資家のプラチナ買い意欲は依然として非常に旺盛：水素経済における主要な役割、グリーン水素の製造、燃料電池電気自動車における使用、短期的なプラチナのパラジウム代替に対する見解の普及、金とパラジウムの両方に対する大幅な割安感、将来の盤石なファンダメンタルズを示唆しています。プラチナの地金およびコイン、ETF投資は2021年も堅調を維持し、過去5年の平均を上回ると予想されますが、2020年の例外的な水準は超えない可能性があります。プラチナの地金およびコイン需要は15%（3トン）減少すると予想されていますが、依然として高止まりしています。全体として、世界のETF投資による純保有高は8トン増加すると予想されています（2020年を約50%下回る）。

### 宝飾品セクターは順調に回復

2020年第4四半期の宝飾品加工は増加に転じて7%（1トン）増加しました。中でも北米での需要が増加し、2020年の四半期ベースで初めて前年比4%（0.1トン）増加しました。中国は2017年第1四半期以来3年連続で前年比増となり、15%（1トン）増でした。

2021年の宝飾品の総需要は、経済活動が回復し、新型コロナウイルスの最も深刻な影響が去り、2020年の水準を13%（7トン）上回り、全市場で改善すると予想されています。

**ワールド・プラチナ・インベストメント・カウンシルのポール・ウィルソン CEO のコメント**は次の通りです。「2020年のような極端な1年において、私たちは「過去最高水準」という表現を見たり読んだりすることが当然であるかのようにになりました。2020年のプラチナの過去最高の年間不足と過去最高の投資需要は、金とパラジウムに対する大幅な割安感と短期および長期の需要の潜在的成長により、世界的にリスクの高い時期にもハードアセットとしてのプラチナの貴重な魅力を浮き彫りにしています。

「パンデミックと世界経済の減速という陰鬱な日々を耐え、私たちは今や世界が正常に戻る可能性を考慮しています。2020年後半の経済回復の明るい兆しは、経済活動が再開し、自動車、工業、宝飾品セクターでプラチナ需要が反発しているという事実を示しています。」

「一方で、パンデミックから回復するにつれ、パンデミック中に表面化した最も明白な世界の課題の1つである脱炭素化においてプラチナが果たす役割が検討されるようになりました。プラチナはグリーン水素製造と、電気自動車の燃料電池の鍵であり、投資家の間でこれについての理解が急速に深まっています。水素の利用可能性が高まり、生産コストが低下するにつれ、脱炭素化への世界的な投資が加速しているため、燃料電池電気自動車はおそらく10年以内に年間100万オンスのプラチナをさらに必要とするでしょう。また、自動車触媒におけるプラチナのパラジウム代替が急速に進んでおり、4年以内に年間100万オンスのプラチナがさらに必要になるでしょう。」

「この大規模な需要成長とここ数か月の価格上昇が相まって、短期志向と長期志向の両方の投資需要が増加する可能性があります。プラチナ投資家は増加し続けており、これまでプラチナを検討しなかった投資家が、このユニークな金属の需要の戦略性に魅力を感じています。こうした投資家がプラチナをよく検討すれば、金およびパラジウムに対するプラチナの大幅な割安感、需要の成長の良好な見通しにより、投資需要は大きく成長するでしょう。」

プラチナ需給バランス (トン)	2018	2019	2020	2021年度予想	2020年/2019	2021年度予想	2019年第4四半期	2020年第3四半期	2021年第4四半期
					年増減率 (%)	/2020年増減率 (%)			
<b>供給</b>									
<b>製錬高</b>	191	190	155	183	-18%	19%	49	46	40
南アフリカ	139	137	102	131	-26%	28%	37	33	27
ジンバブエ	14	14	15	14	5%	-3%	3	4	4
北米	11	11	10	12	-5%	11%	3	2	3
ロシア	21	22	22	21	-2%	-2%	5	6	6
その他	6	5	6	5	11%	-5%	1	1	1
生産者製錬在庫における増減 (+/-)	+0	0	-2	0	N/A	N/A	1	-3	-1
鉱山からの供給総量	191	190	152	183	-20%	21%	51	43	39
<b>リサイクル</b>	60	66	59	63	-10%	6%	17	15	18
自動車触媒	44	49	45	47	-10%	6%	12	11	13
宝飾品	16	15	13	14	-11%	8%	4	4	4
工業	0	2	2	2	-3%	5%	0	0	0
<b>供給総量</b>	251	256	212	247	-17%	17%	67	58	57
<b>需要</b>									
<b>自動車</b>	96	89	74	93	-17%	25%	22	20	23
自動車触媒	91	89	74	93	-17%	25%	22	20	23
ノンロード	5	↑	↑	↑	↑	↑	↑	↑	↑
<b>宝飾品</b>	70	65	57	64	-13%	13%	15	16	16
<b>工業</b>	60	65	61	68	-5%	10%	13	16	19
化学	18	22	18	19	-15%	2%	6	4	5
石油	7	7	4	6	-47%	56%	2	1	1
電気	6	5	4	4	-10%	-3%	1	1	1
ガラス	8	6	13	14	115%	9%	-2	4	5
医療	7	8	7	8	-5%	7%	2	2	2
その他	14	18	15	18	-15%	16%	5	4	4
<b>投資</b>	0	39	48	24	24%	-51%	3	30	4
地金、コインの増減	9	9	18	15	107%	-15%	1	3	2
ETF保有高の増減	-8	31	16	8	-49%	-50%	1	16	2
取引所在庫の増減	-1	-1	14	0	N/A	-98%	0	11	0
<b>総需要</b>	226	258	241	249	-7%	3%	53	81	62
<b>残在庫</b>	25	-3	-29	-2	N/A	N/A	14	-24	-5
<b>地上在庫</b>	105	111**	82	80	-26%	-2%			

出典：Metals Focus 2019 - 2021、SFA (Oxford) 2018 年

注記：

1. \*\* 2018 年 12 月 31 日現在の地上在庫 3,650 koz (114 トン) (Metals Focus)
2. † ノンロード自動車需要は自動車触媒需要に含まれます
3. Metals Focus および SFA(Oxford)のデータは、同一または直接比較で作成されているとは限りません
4. 2019 年以前の SFA のデータは、5,000oz 単位に四捨五入されています

メディア関連のご要望は、Elephant Communications にお問い合わせください

Guy Bellamy / Jim Follett / Jemima Woods

wpic@elephantcommunications.co.uk

編集者への注記：

2020 年プラチナ市場の過去最大の不足 29 トン、過去最大の投資需要 48 トンは、いずれも 1975 年から 2020 年に Johnson Matthey、2013 年から 2020 年にかけて WPIC が発表した年間の数値の中で最大。

### 『Platinum Quarterly』について

『Platinum Quarterly』は世界のプラチナ市場を四半期毎に分析するもので、独立した立場で実施され無料で提供される業界初のレポートです。『Platinum Quarterly』は、ワールド・プラチナ・インベストメント・カウンシルの刊行物です。2019 年以降は、白金族金属市場の権

威ある独立機関である Metal Focus への委託により実施された調査と詳細な分析に主に基づいて作成されています。

### **World Platinum Investment Council (ワールド・プラチナ・インベストメント・カウンシル) について**

World Platinum Investment Council Ltd. (WPIC、ワールド・プラチナ・インベストメント・カウンシル) は、現物プラチナ投資に関する世界市場の権威として、客観的で信頼できるプラチナ市場情報に対する、投資者の方々の強いご要望を受けて設立されました。WPIC の使命は、行動可能な見識と目標を定めた商品開発を通じて、現物プラチナに対する世界の投資需要を喚起することにあります。WPIC は、南アフリカの主要プラチナ生産者により 2014 年に創設されました。WPIC の加盟会社は、Anglo American Platinum (アングロ・アメリカン・プラチナ)、Impala Platinum (インパラ・プラチナム)、Northam Platinum (ノーザム・プラチナ)、Royal Bafokeng Platinum (ロイヤル・バフォケン・プラチナ)、Sibanye-Stillwater (シバニエ・スティルウォーター) です。

詳細については、ウェブサイト [www.platinuminvestment.com](http://www.platinuminvestment.com) をご覧ください。

WPIC 事務局住所 : World Platinum Investment Council, Foxglove House, 166 Piccadilly, London, W1J 9EF

### **Metals Focus について**

Metals Focus は、世界の大手貴金属コンサルティング会社の 1 つで、世界の金、銀、プラチナ、パラジウム市場に特化し、調査、定期レポートの発行、予測、個別のコンサルティング業務を行っています。Metals Focus チームは 8 つの法域に分散し、世界中に多数の情報源を有しています。これを活かし、Metals Focus は、貴金属市場に関する世界レベルの統計、分析、予測を提供することに専心しています。

詳細情報は、ウェブサイト [www.metalsfocus.com](http://www.metalsfocus.com) をご覧ください。

### **プラチナについて**

プラチナは世界で最も希少な金属の 1 つで、独特の品質を持つため、様々な需要分野において高く評価されています。プラチナ特有の物性および触媒活性は、工業利用においてその価値を確立しました。同時に、貴金属としての独特な特質のため、高級宝飾品にも使用されています。

プラチナには、主に鉱山での生産とリサイクルの 2 つの供給源があります。後者は使用済み自動車触媒と宝飾品のリサイクルによるものが主流です。過去 5 年間の年間プラチナ総供給量 (精製済みオンス) の 72%~77% は、鉱山で生産されたものです。世界のプラチナ需要は堅調で、ますます多様化しています。プラチナ需要の 4 大主要分野は、自動車、工業、宝飾、投資です。

自動車触媒における過去 5 年間のプラチナ需要は、総需要量の 31% から 43% の間を推移しています。自動車以外の工業分野でのプラチナの多様な使用は、世界総需要量の 24% となっています (過去 5 年間の平均)。同様に、宝飾品におけるグローバルな年間総需要は、平均で、プラチナ総需要の 28% を占めています。投資はプラチナ需要の中で最も変動が大きく、過去 5 年間は総需要の 0% から 20% を占めています (投資家が保有する未公表の保有残高の変動を除く)。

### **免責事項**

World Platinum Investment Council および Metal Focus のいずれも、投資に関する助言を提供するための規制機関による許可を受けていません。本書のいかなる部分も、投資に関する助言、証券もしくは金融商品の販売の提案または購入の助言を意図するものではなく、その

ように解釈されるべきでもありません。投資を行う前に必ず適切な専門家による助言を受けてください。詳細については、ウェブサイト [www.platinuminvestment.com](http://www.platinuminvestment.com) をご覧ください

-ENDS-